

1 にしんの業績

2 にしんの健全性

3 にしんの安全性

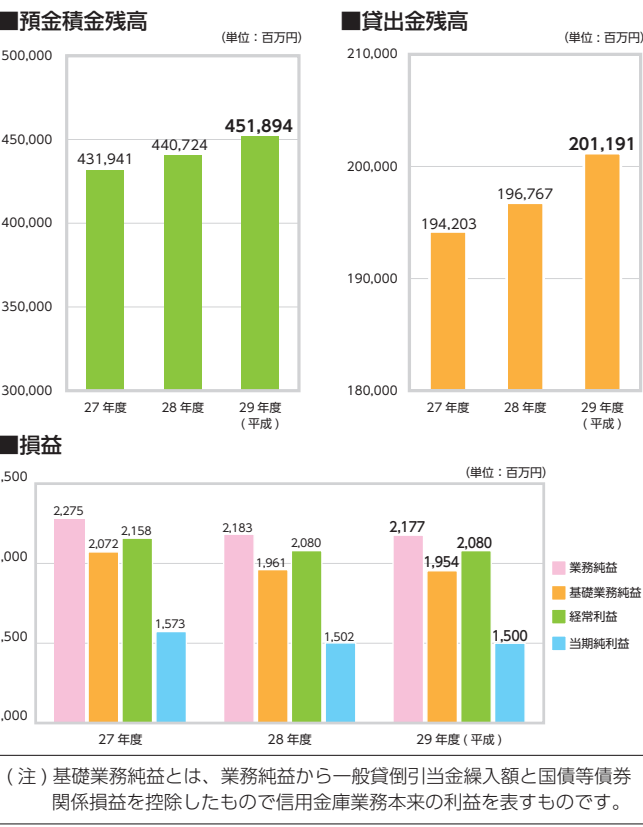
4 地域社会への貢献活動

地域で最も信用、信頼される
金融機関をめざして

にしんは、①課題解決型金融の強化、②独自性の追求と発揮、③経営力・内部管理態勢の強化、④人財力の強化を最重要課題と位置付け、日々、地域社会のために邁進してまいりました。

平成29年度の実績として、預金末残は対前年度比で2.5%増加し、貸出金末残も2.2%増加しました。収益面においては、リスク管理の徹底と諸経費の節減に努めた結果、本業での収益力を示す基礎業務純益は19億5千4百万円、当期純利益で15億円を確保することができました。

今後も、地域で最も信用、信頼される金融機関をめざして役職員一同、力を合わせて努力いたします。



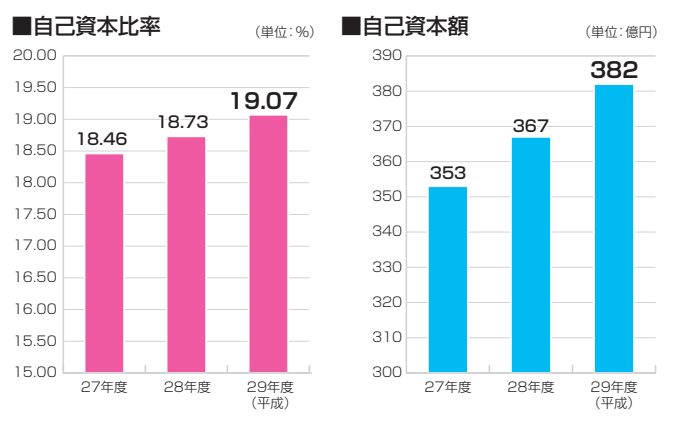
自己資本の充実状況

にしんが、創業以来積み上げてきた利益金と、会員の皆様からの出資金の合計額が自己資本です。「自己資本比率」はリスク・アセット(総資産のうち、万一の場合に貸し倒れの可能性がある資産)に対し、自己資本がどれくらいあるかを示す指標のことです。従って一般的には、この比率が高いほど不時への備えが厚く健全性も高いと言えます。信用金庫など国内だけで営業している金融機関に適用される国内基準は4%以上で、大手銀行など海外でも営業している金融機関は国際基準で8%以上となっています。



にしんの自己資本比率は**19.07%**となり国内基準を大きく上回る水準で健全性を維持しております。

また、自己資本額も**382億円**となり自己資本の充実が図られました。



不良債権残高・比率の状況

貸出金等の元本や利息が取引先の事情により決められた期日に返ってこない場合及びその危険性が高い場合、それを不良債権といいます。

にしんでは保有する資産(貸出金等)について厳格な基準による自己査定を行い、その結果に基づいて不良債権を開示しております。([リスク管理債権]及び[金融再生法に基づく開示債権])

にしんの
リスク管理債権比率は **4.36%**
リスク管理債権額は **87億円**
リスク管理債権の保全率は **94.38%**

特に危険度の高い破綻先債権、
延滞債権の保全率は **94.61%**

自己査定基準	金融再生法	リスク管理債権	保全状況
破綻先	破産更生債権及びこれらに準ずる債権(2,175百万円)	破綻先債権(288百万円)	100.0%
		貸出金以外	
実質破綻先		延滞債権(8,364百万円)	100.0%
破綻懸念先	危険債権(6,496百万円)	貸出金以外	92.83%
要注意先	要管理債権(136百万円)	3ヵ月以上延滞債権(9百万円)	-
		貸出条件緩和債権(126百万円)	
正常先	正常債権(195,165百万円)	-	-
合計	203,974百万円	8,789百万円	94.38%

にしんは、利益の極大化を追求する経営とは異なり、自らの地域社会ビジョンを持ち、地域市民、地域社会の新しい風を感じながら、一人ひとりの会員・お客さまからもたらされる恵み(経済的・文化的・社会的恵み)に対して価値を提供する、共に持ち寄って利益を分かち合う組織を目指しております。よって、金融面だけでなく、創業以来、文化的・社会的貢献にも力を入れております。

一般財団法人「にしん地域振興財団」

にしん地域振興財団は、地域貢献の一環としてにしんが基金の全額を拠出して設立した団体です。現在の基本財産は1億8千5百万円となっています。西播磨地区の振興発展を図るために、平成29年度は次のとおり事業の助成を行いました。

宍粟市さつきマラソン大会

地場産業振興発展助成事業表彰「株式会社澤田綿行」

宍粟市内小中学校幼稚園への図書券寄贈「伊水小学校からのお礼状」

ふれあいコンサート

- コミュニティ活動助成事業(助成金額172.5万円)
- 宍粟市さつきマラソン大会に対する助成
 - 新宮町納涼ふれあい祭りに対する助成
 - 太子あすかふるさとまつりに対する助成等
- 地場産業振興発展助成事業(助成金額20万円)
- 産学協同開発事業に対する助成
- 青少年健全育成助成事業(助成金額220万円)
- 宍粟市小中学校幼稚園、児童・生徒等健全育成会に対する助成
 - 宍粟市内小学校訪問ふれあいコンサートに対する助成等

地域貢献活動等の取組み

「信用金庫の日」清掃活動

「金融教育活動」山崎小学校

山崎高等学校によるショールームディスプレイ

「よろず支援拠点補助金申請ミニセミナー」を開催